

Press release

2026年2月 10日
イーエスジー・テクノロジーズ株式会社

“学ぶ”から“評価される”へ

～高校生のバイオガス挑戦が行政評価に結実～



みどり戦略学生チャレンジ 東海ブロック大会 発表の様子

■プロジェクト概要

イーエスジー・テクノロジーズ株式会社（本社：東京都中央区／代表取締役：毛利元）は、事業活動の一環として、岐阜県立大垣養老高等学校と連携し、畜産廃棄物を活用したバイオガスプロジェクトを2025年度に実施しました。本プロジェクトは、再生可能エネルギーの社会実装をテーマに、高校生が主体的に関わる実践型の環境教育プログラムとして取り組まれたものです。

■学びの内容

本プロジェクトでは、大垣養老高等学校の敷地内に小型バイオガス発電装置を設置し、家畜のふん尿を原料としてメタンガスを生成、発電を行いました。さらに、発酵後に残る消化液を液肥として農地に還元することで、「廃棄物を資源として循環させるモデル」を学ぶ取り組みとして展開されました。生徒は、原料投入、発酵状況の観察、管理、分析といった工程に実際に関わり、教室内の学習にとどまらない体験的な学びを重ねました。



■探究活動の成果

こうした取り組みを基にした探究活動は、外部評価の場においても高く評価されています。

農林水産省 東海農政局が開催している「みどり戦略学生チャレンジ 東海ブロック大会」において、大垣養老高

等学校は準グランプリを受賞しました。本大会は、持続可能な農林水産業や環境配慮型社会の実現に向けた学生の挑戦を評価するもので、本プロジェクトが学生の主体性と社会性を育む取り組みとして認められた結果といえます。

また、朝日大学主催の「ぎふ未来社会共創プロジェクト探究アワード 2025」においても、同校は特別賞である「セイノー賞」を受賞しました。発表テーマは「畜産廃棄物及び食品残渣によるバイオガス発電」であり、環境負荷低減と地域資源循環の両立を目指す点が高く評価されました。



みどり戦略学生チャレンジ 東海ブロック大会 受賞



ぎふ未来社会共創プロジェクト探究アワード 2025 表彰式

さらに、岐阜大学で開催された第13回岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会にも参加。また、全国の畜産系高校が集う「和牛甲子園」においても、家畜のふん尿を活用している本バイオガスプロジェクトを盛り込んだ発表が行われ、畜産業と環境保全を結び付けた先進的な取り組みとして発信されています。



第13回岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会

■教育としての価値

本プロジェクトを通じて、当社が取り組む環境教育は、単なる知識提供にとどまらず、学生自身が社会課題に向き合い、外部から評価される成果を創出する機会を提供するものとなっています。これは、学生の社会的価値や将来の可能性を高める教育的意義を有する取り組みであると考えています。

イーエスジー・テクノロジーズ株式会社は、今後も次世代を担う若者と共に、再生可能エネルギーや循環型社会の実現に向けた取り組みを推進し、環境と社会の双方に価値を生み出す活動を続けてまいります。

【会社概要】

社名:イーエスジー・テクノロジーズ株式会社

所在地:東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 4 番 6 号 木村實業第二ビル 2 階

代表取締役:毛利 元

事業内容:再生可能エネルギー事業、省エネルギー事業、蓄電池事業、環境教育事業

設立:2020 年 10 月

HP:<https://esg-t.jp/>

【本件に関するお問い合わせ・取材申込先】

イーエスジー・テクノロジーズ株式会社 担当:篠原 杏里

TEL:070-4431-0291 | Email:shinohara@esg-t.jp